

令和元年度 データヘルス計画の評価

《中長期目標》

項目	指標		目標値	28年度	29年度	30年度	元年度	備考	
医療給付費	1人当たりの医療費の伸び(前年度比)		1.58%	△2.07%	11.23%	△5.26%	10.19%		
虚血性心疾患	急性心筋梗塞の標準化死亡比(SMR)	元年度の値は、 H26-30	男性	1.00	1.95	2.45	2.60	2.76	全国平均を1としている。1より大きい場合は全国平均より死亡率が高い。
		女性	1.79	1.98	2.72	2.30	2.50		
ジェネリック医薬品	ジェネリック医薬品の使用		80.0	74.4	78.2	79.7	79.8		

《短期的目標》

項目	指標	目標値	28年度	29年度	30年度	元年度	備考
メタボリックシンドローム	メタボリックシンドローム該当者及び予備群	30.0%	33.8%	33.4%	36.0%	34.4%	
高血圧症	特定健康診査の結果 II度、III度高血圧の割合	3.5%以下	3.9%	7.9%	5.7%	3.9%	
糖尿病	特定健康診査の結果 HbA1c6.5%(治療中7.0%)以上の割合	4%以下	4.7%	6.5%	7.6%	8.9%	
脂質異常症	特定健康診査の結果 中性脂肪 300mg/dl以上の割合	1.3%以下	1.9%	1.9%	2.4%	1.8%	
特定健康診査	特定健康診査受診率	60.0%	57.2%	57.4%	57.5%	57.9%	目標値は保健事業計画による
特定保健指導	特定保健指導利用率	40.0%	11.0%	29.9%	44.1%	41.4%	目標値は保健事業計画による

評価	<p>《中長期目標》 ジェネリック医薬品の使用については、年々上昇傾向にあり同様の取組を継続します。 ・虚血性心疾患の標準化死亡比は著しく増加傾向にあります。重症化予防事業により力を入れる必要があります。</p> <p>《短期目標》 メタボリックシンドロームは前年比-1.6%となったものの、国・県・同規模と比較していずれも高い割合のままです。 高血圧症、脂質異常症の数値は若干改善がみられました。一方、糖尿病は年々大幅に増えています。 特定健康診査受診率は、毎年少しずつですが受診率が伸びており、目標値まであと少しです。 特定保健指導利用率は、前年比では減少しましたが、目標値まであと少しです。</p> <p>《総合評価》 特定保健指導は、目標値の達成に向け、同様の取り組みを継続する必要があります。 高血圧症、脂質異常症は少しずつ改善がみられるため、引き続き健康教育や生活改善に取り組む必要があります。 一方で、糖尿病(HbA1c)の有所見者率は年々増加の一途をたどっており、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに従い、医療機関等と連携し、着実に実施する必要があります。</p>
----	---